

世界バイオ医薬株式ファンド

愛称：世界の薬

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第3期

決算日：2024年10月28日

作成対象期間：2024年4月27日～2024年10月28日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。当ファンドは、主として世界各国・地域の取引所に上場しているバイオ医薬関連企業が発行する株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第3期末（2024年10月28日）	
基準価額	11,973円
純資産総額	1,233百万円
第3期中 (2024年4月27日～2024年10月28日)	
騰落率 [※]	11.6%
分配金合計	100円

※騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められています。運用報告書(全体版)は、下記の手順にてご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

< 閲覧方法 >

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「運用ファンド」ファンド名称より「運用報告書」を選択ください。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区内神田一丁目13番7号 四国ビルディング9階

< お問い合わせ先 >

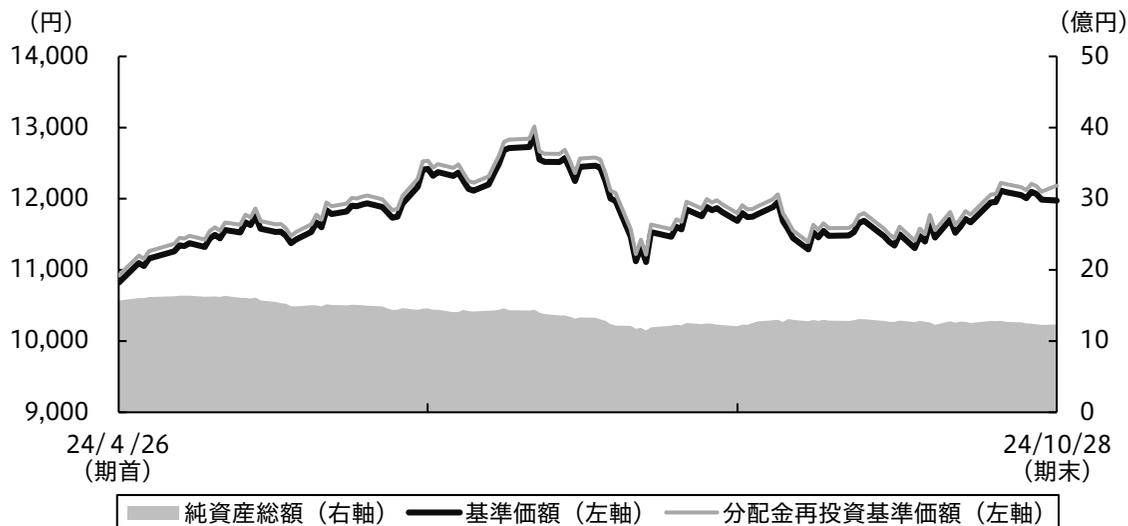
[電話番号] 03-5259-7401

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

[ホームページ] www.capital-am.co.jp

◆ 運用経過の説明 ◆

1. 基準価額の推移 (2024年4月27日～2024年10月28日)



第3期首：10,822円

第3期末：11,973円 (既払分配金100円)

騰落率：11.6% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

2. 基準価額の主な変動要因 (2024年4月27日～2024年10月28日)

基準価額は、期首10,822円から期末12,073円(分配金100円を含む)に1,251円の値上がりとなり、騰落率は分配金再投資ベースで11.6%の上昇となりました。ファンドに組入れているバイオ医薬関連株式が上昇し、基準価額の押し上げ要因となりました。

3. 当期中の1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	115円	0.976%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率です。 なお、期中の平均基準価額は11,808円です。
(投 信 会 社)	(66)	(0.558)	・ 委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0.390)	・ 運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.052	(b)売買委託手数料は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(株 式)	(6)	(0.052)	売買委託手数料とは、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c)有価証券取引税は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(株 式)	(0)	(0.001)	有価証券取引税とは、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用	21	0.177	(d)その他費用は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(監 査 費 用)	(2)	(0.016)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保 管 費 用)	(10)	(0.089)	・ 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(9)	(0.073)	・ 信託事務の処理等に要するその他の諸費用（目論見書・届出書および報告書の作成、交付、印刷に係る費用等）
合 計	142	1.206	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

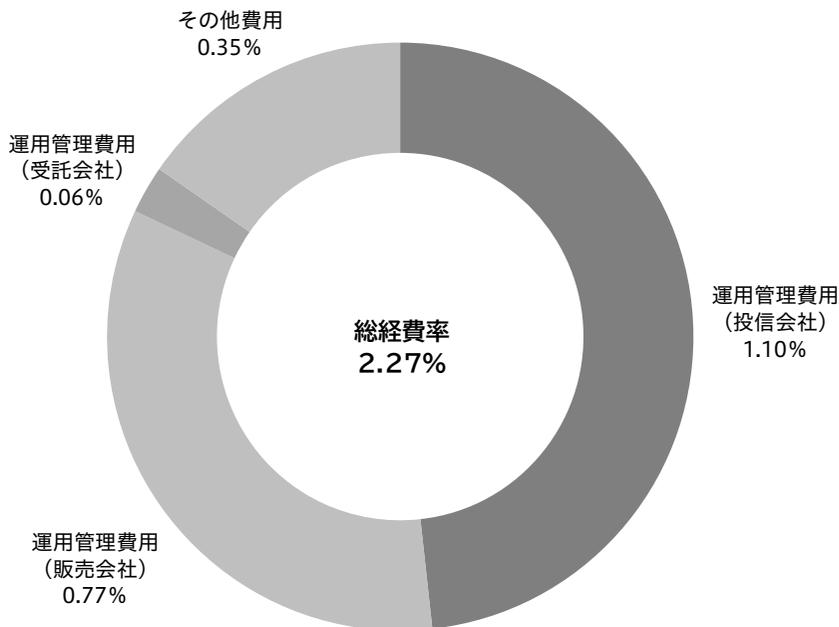
(注2) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は2.27%です。



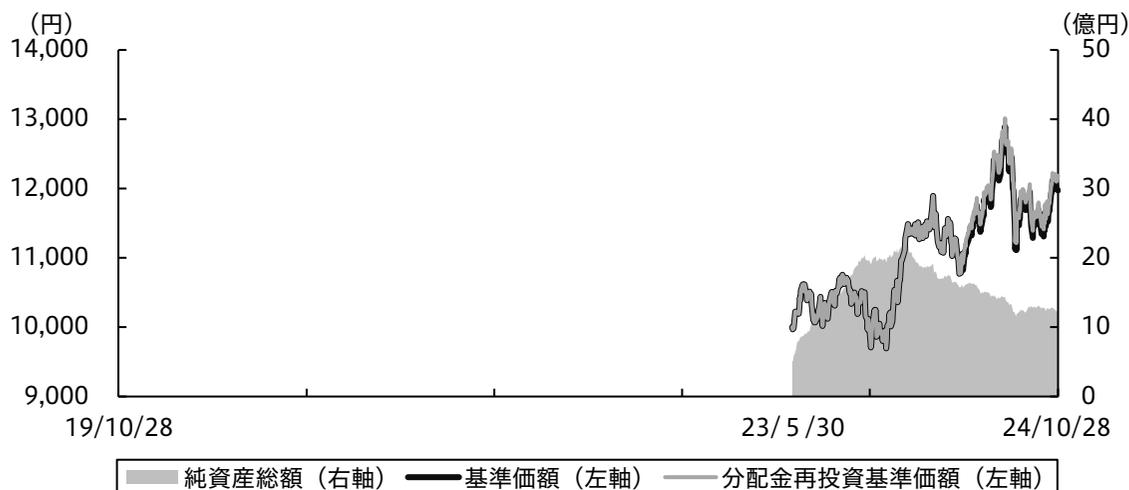
(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4. 最近5年間の基準価額等の推移 (2019年10月28日～2024年10月28日)



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

	(2023/5/30) 設定日	(2023/10/26) 決算日	(2024/10/28) 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,988	11,973
期間分配金 (税込み) 合計 (円)	–	0	200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	–	△0.1	22.0
ナスダックバイオテクノロジー株指数騰落率 (%)	–	△1.8	28.5
純資産総額 (百万円)	509	1,953	1,233

(注1) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、「ナスダックバイオテクノロジー株指数」を参考指数として表示しています。

(注2) ファンド設定日（2023年5月30日）から5年に満たないため、設定時を起点として計算しています。騰落率は設定日との比較です。

(注3) 期間分配金は、年間の分配金を合計して算出しています。

5. 投資環境 (2024年4月27日～2024年10月28日)

< 株式市場 >

当期の参考指数のナスダックバイオテクノロジー株指数は、14.8%の上昇となりました(米ドルベース)。

バイオ医薬関連株式市場は2024年7月にかけては、米インフレへの警戒感が和らいだことに加え、鳥インフルエンザのヒトへの感染が報告される中、メッセンジャーRNA(mRNA)ワクチン銘柄が市場で注目されたこと、一部企業が良好な臨床試験(治験)の結果や市場予想を上回る4-6月期決算を発表したことなどを背景に上昇基調となりました。8月初旬には、7月の米失業率の上昇などから米景気の減速懸念が高まり下落しましたが、その後は米経済のソフトランディング(軟着陸)期待や注目の経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」での米連邦準備理事会(FRB)のパウエル議長の発言を受けた米早期利下げ観測の高まり、一部の企業の好決算などを背景に上昇に転じ、底堅さを示しました。

9月に入ると、米連邦公開市場委員会(FOMC)で0.5%の大幅利下げが決定され、利下げ姿勢が米経済のソフトランディングにつながるなどの期待が高まるなど市場環境は良好でしたが、バイオ医薬関連株式市場は一部のバイオ医薬品会社のバイオシミラー(バイオ後続品)との競合などが警戒され、下落に転じました。期末にかけては、米景気の底堅さなどを受けて米長期金利が上昇し、株式の相対的な割高感なども意識されて売り圧力に押される展開となりましたが、当期前半の堅調な推移により通期では上昇となりました。

< 外国為替市場 >

当期の米ドル円相場は、1.5%の米ドル安・円高となりました。

期首1米ドル=155円台にあった米ドル円相場は横ばい圏で始まりましたが、6月には日銀の金融政策決定会合で国債買い入れ減額の具体的な計画の決定が次回会合まで先送りされ、米ドル高・円安が加速しました。しかし7月中旬以降は、6月の米消費者物価指数(CPI)が市場予想を下回り、米利下げ観測が強まる中、政府・日銀による為替介入が実施されたとみられ、米ドル安・円高方向に転じました。その後も、トランプ前大統領の米ドル高牽制発言や日銀による利上げなどを受けて米ドル安・円高となりました。更に8月には、海外投資家による円キャリー取引の巻き戻しや7月の米失業率の上昇を受けた米景気後退観測の台頭を背景に米ドル安・円高が一段と進行しました。パウエルFRB議長が9月利下げ開始を示唆したことも、米ドル売り・円買い要因となりました。

9月にはFOMCで大幅な利下げが決定されたものの、今後の金融緩和ペースが緩やかになるとの見方や日銀が追加利上げを急がないと示唆したことで米ドル高・円安に転じました。更に期末にかけては、市場予想を上回る米経済指標などを背景に米長期金利が上昇する中、日本の衆議院選挙での連立与党の過半数割れも加わり、米ドル高・円安が進行しました。当期末は、1米ドル=153円台で終わり、通期では米ドル安・円高となりました。

6. 当該投資信託のポートフォリオ（2024年4月27日～2024年10月28日）

株式組入比率は高位を維持し、期末の組入銘柄数は58銘柄としました。

主力の抗エイズウイルス(HIV)薬に加え、M&A(合併・買収)を通じたがん領域のパイプライン(新薬候補)の強化などを考慮すると、割安感が強いとみられる米バイオ製薬大手ギリアド・サイエンシズや、眼疾患やぜんそくなどの治療薬の開発製造を手掛ける同リジェネロン・ファーマシューティカルズなど、バイオテクノロジー銘柄を中心としたポートフォリオを継続しました。また、大型株の一部利益確定の売却などを行う一方、中小型株の買入などを実施しました。

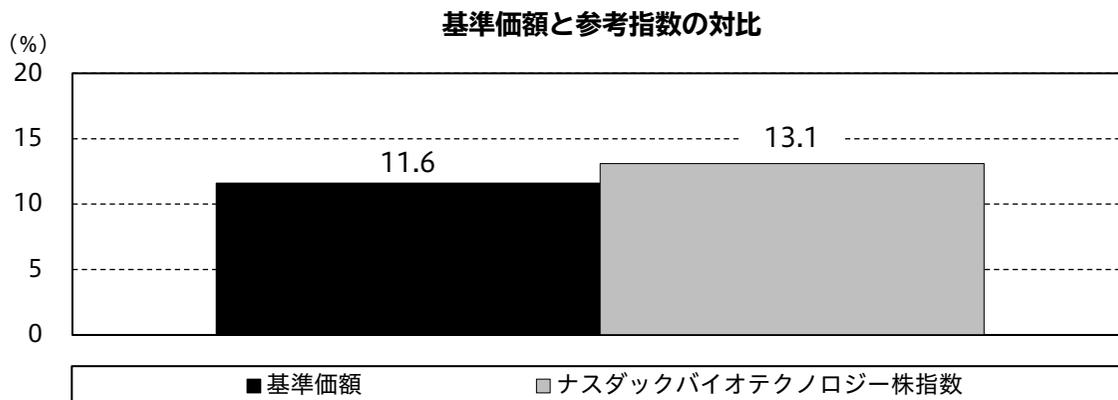
期中の主な売買は、以下の通りです。

買入：米バイオ製薬会社SpringWorks Therapeutics Inc、同Summit Therapeutics Incなど

売却：米バイオ製薬大手Vertex Pharmaceuticals Inc、同Regeneron Pharmaceuticals Incなど

7. 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1) 基準価額は分配金(税引前)込み。

(注2) 参考指数は前営業日の「ナスダックバイオテクノロジー株指数」の終値を当日の為替レート(投信協会発表)で邦貨換算した数値を参考指数として表示しています。

8. 分配金

分配原資、基準価額水準等を勘案し、当期の収益分配は以下の通りとさせていただきます。
留保益は、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第3期
	2024年4月27日～ 2024年10月28日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.83%
当期の収益	100
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,972

(注1) 当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。

(注2) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税引前)と一致しない場合があります。

◆ 今後の運用方針 ◆

< 株式市場の見通し >

米大統領選で返り咲いたトランプ氏が掲げる政策の不透明感や中東情勢など地政学的リスクの高まりなどを受けて、株式市場は不安定な動きが想定されます。しかし、バイオ医薬関連銘柄は新薬承認を取り巻く環境が良好であることなどから比較的安定した推移が見込まれます。

また、バイオ医薬関連株式市場では、M&Aの動きが活発です。魅力的な新薬候補や高い技術力・研究開発力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬関連企業を買収する動きは今後も継続すると見られ、株価にはプラス要因になると考えられます。

一方、薬価の引き下げ圧力の動向に加えて、臨床データや治験結果の発表、決算の内容などには引き続き注視が必要です。

引き続きファンダメンタルズ分析を行い、企業価値を適切に評価してポートフォリオを構築していく方針です。

◆ お知らせ ◆

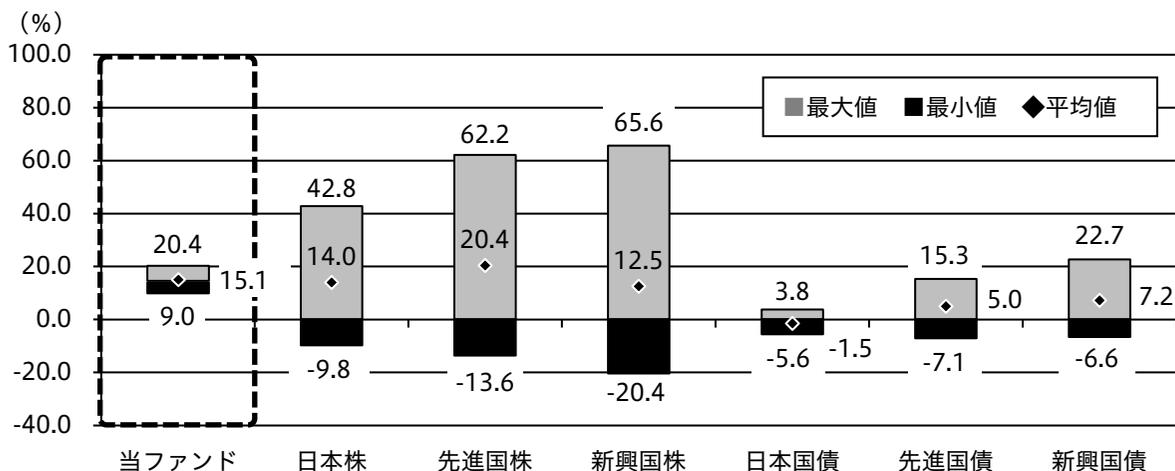
該当事項はございません。

◆ 当該投資信託の概要 ◆

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限(設定日：2023年5月30日)
運用方針	信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界各国・地域の取引所に上場しているバイオ医薬関連企業が発行する株式
運用方法	主として世界各国・地域の取引所に上場しているバイオ医薬関連企業が発行する株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんが、機動的に市場変動に対応することがあります。
分配方針	毎決算日(年2回、原則として4月26日、10月26日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

◆ ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆

(2019年10月～2024年9月)



(注1) 当ファンド：2024年5月～2024年9月

代表的な資産クラス：2019年10月～2024年9月

全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 過去5年間の各月末における年間騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注3) 各資産クラスの指数につきましては最終ページをご覧ください。

(注4) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、邦貨換算しています。

(注5) 騰落率は当期末の直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

(注6) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

◆ 当該投資信託のデータ ◆

1. 当該ファンドの組入資産の内容 (2024年10月28日現在)

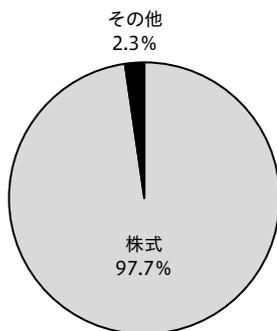
● 組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率(%)
Gilead Sciences Inc	米ドル	9.6
Regeneron Pharmaceuticals Inc	米ドル	7.7
Vertex Pharmaceuticals Inc	米ドル	6.4
Amgen Inc	米ドル	6.2
AstraZeneca PLC-ADR	米ドル	4.6
Alnylam Pharmaceuticals Inc	米ドル	4.1
Biogen Inc	米ドル	3.1
Argenx SE-ADR	米ドル	2.9
BioMarin Pharmaceutical Inc	米ドル	2.4
Illumina Inc	米ドル	2.3
組入銘柄数	58銘柄	

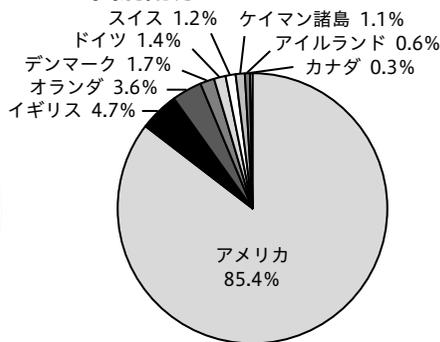
(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

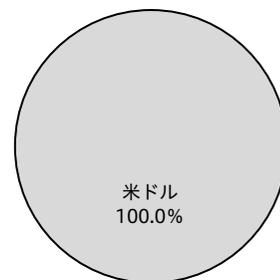
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 資産別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分比率は、発行国・地域で区分しています。

(注3) 各比率の合計が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

2. 純資産等

	第3期末 2024年10月28日
純資産総額	1,233,169,270円
受益権総口数	1,029,976,140口
1万口当たり基準価額	11,973円

(注) 当期間における追加設定元本額は389,130,757円、同解約元本額は807,898,888円です。

◆ 指数に関して ◆

<代表的な各資産クラスの指数>

日本株：Morningstar 日本株式指数	日本国債：Morningstar 日本国債指数
先進国株：Morningstar 先進国株式指数(除く日本)	先進国債：Morningstar グローバル国債指数(除く日本)
新興国株：Morningstar 新興国株式指数	新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

海外資産の指数については、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数値を使用しています。
上記各指数は、全て税引前の利子・配当込みの指数値を使用しています。

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式(除く日本)指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債(除く日本)指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び/又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。